

## 長滝白山神社宮司 若宮多聞氏 講演

10月12日(土)に、高鷲文化財保護協会主催の『長滝白山神社の宮司 若宮多聞氏』の講演会が行われた。テーマが「武家と宗教文化―鷲見氏の歴史について―」であり、約1時間30分の講演であった。参加者は高鷲町民だけでなく白鳥からも参加があり約22名で、高鷲町民センター和室で行われた。

### 【長滝白山神社とは】

霊峰白山をご神体とする日本各地に分布する白山神社の一つ白山信仰における美濃国側の中心である。明治維新以前は白山中宮長瀧寺と称したが、明治時代の神仏分離後も長滝白山神社と長瀧寺に分離された。神仏分離後も長滝白山神社と長瀧寺は同一境内にあり、参道も同じである。

伝承によれば養老元年(717)、白山中宮長瀧寺として泰澄が創建したとされる。同6年には元正天皇の病氣平癒を祈願して効験があったことから、元正天皇自作の十一面観音、聖観音、阿弥陀如来を本地仏を安置し、白山本地中宮長瀧寺に改称したという。

天長5年(828)にはそれまでの法相宗から天台宗寺院に改修した。馬場とは禅定道の基点のことであり、白山三馬場とは、美濃国の白山中宮長瀧寺、加賀国の白山本宮(現在の白山比メ神社)、越前国の白山中宮平泉寺である。平安時代の長瀧寺は、白山三所、若宮社、大講堂、鐘楼、護摩堂、神楽堂、三重塔、法華堂、薬師堂など30以上の堂宇が建ち、6谷6院360坊を有していたという。文永8年(1271)には火災により半数の建物を焼失。正応3年(1290)には本殿が再建された。

宝徳2年(1450)には比叡山延暦寺西塔院南尾一切経藏院の末寺となる。

江戸時代には白山嶺上の管理を巡り、美濃馬場の白山本地中宮長瀧寺、加賀馬場の白山寺白山本宮、越前馬場の白山中宮平泉寺との論争が起きる。日本全国の白山神社の半数以上が白山本地中宮長瀧寺系統の白山神社であったという。

明治元年(1868)、神仏分離令により、長滝白山神社と長瀧寺に分離した。長瀧寺の建物のうち、白山三社、拝殿は長滝白山神社となり、大講堂、薬師堂、弁天堂、鐘楼などは長瀧寺となる。明治32年(1899)に火災で社殿を焼失し、現在の建物は、大正時代の再建である。

長滝白山神社、長瀧寺、阿名院が共同で設置した宝物殿(瀧宝殿)は、平成30年(2018)に郡上市に寄付され、郡上市の施設白山瀧宝殿となっている。(フイキペディアより引用)



講演を聞く参加者



白山三社



拝殿

## 【若宮氏の講演内容】

長滝白山神社 40 代宮司若宮多聞です。

白山長滝神社は、天明 5 年(1785)主屋等を修繕し、岐阜県文化財に指定され、現在は郡上市に寄贈されている。神社には数多くの古文書があり、その多くは医薬関係書類で、住民からは「社家の役割は僧侶として芸能を行うことと、地域のことを行うこと」の中心であった。

白山の歴史は前述の通りで、三馬場が白山信仰を広める。天台宗延暦寺と関係を持ち、情報の収集、及び飛脚、物流の役割を持った。その役割を担ったのが山伏である。

山伏(修験者)については、会報高鷲の文化財 No76 で述べたように、そもそも修験とは、修行して験徳を顕すことをいい、煩惱によって本姓(仏性)を曇らせているので修行によってこの曇りを取り、悪から離れて清らかな本心を発揮する。そして法の徳を顕すことが修験の意味で、これを実践する人を修験者という。このような教義から、修験者は深山幽谷で修行し、全国各地の霊場を詣った。この修行した寺院で起証文を貰い、大義名分が得られたことになる。山伏が台頭してきたことに武士と対立するようになり、鎌倉時代の「御成敗式目」にも武士は神の裏付けが必要であるとある。この事により、長瀧各坊は次のようように武家と関係を持っており、鷲見家では、鷲見武保の三男が竹本坊を開設している。(武家と長瀧各坊の関係右図)

比叡山焼き討ちで有名な信長の父は、白山神社を信仰しており、信長も白山神社を信仰していた。愛知県には 200 社以上の白山神社がある。

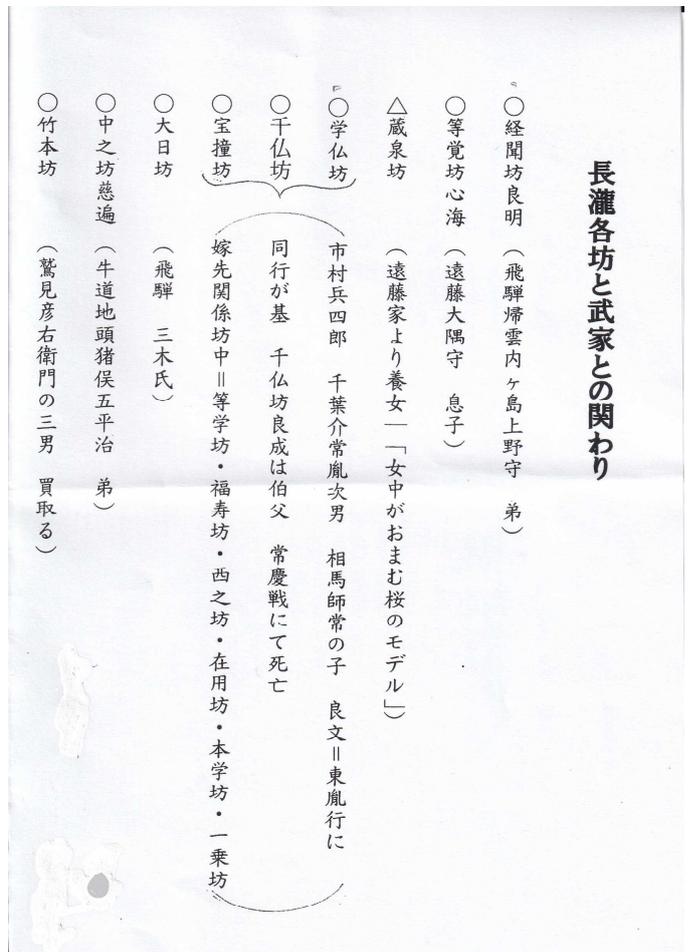
また、信長と長瀧寺の道雅法印との関係についてもお話があった。信長は情報収集のため山伏を利用したかったのではないか。

最後に長滝白山神社の行事のうち、六日祭の花奪い行事でなく延年の舞が大切であると力説された(右下写真)。

長滝の延年は、岐阜県郡上市の長滝白山神社で行われる延年で、六日祭り、花奪い祭とも呼ばれる。現在でも行われている延年の行事の中で毛越寺の延年と並んで古態を遺しているといわれ、1977 年(昭和 52 年)に重要無形民俗文化財に指定されている。



講演をする若宮氏



## お知らせ

### 令和 6 年度高鷲文化財保護協会 研修旅行

行き先：一乗谷朝倉遺跡と永平寺・平泉寺  
 日時：11月5日 8:00 振興事務所集合  
 費用：2000 円(入場料)  
 申し込み：町民センター 上村強  
 電話：72-6321



延年の舞当弁(岐阜女子大より)

